

理学療法学科 新入生の皆様へ

総合リハビリテーション学部
理学療法学科 学科長 岩井信彦

皆様、こんにちは。ご入学おめでとうございます。皆様が理学療法士を目指し、本学科の門をたたいて頂いたこと、大変うれしくまた頼もしく思っております。

本学が、政府の新型コロナウイルス感染拡大対策による「緊急事態宣言」発布を受けて、前期授業開始を5月11日に繰り下げ、学内立ち入り禁止にしたことにより、皆様には多大なご不便とご心配をおかけしております。4月から新たな大学生活に期待をよせておられた新入生の皆様の気持ちを考えると、断腸の思いですが、皆様の命と未来を第一に考え決断しました。5月11日からの授業はキャンパスの教室ではなく、パソコンや携帯電話の画面を通して行うことが予測されます。私たち教員は理学療法士を目指す新しい仲間39名を名前では確認することができません。皆様の元気な顔を見ることを楽しみに、5月からの授業の準備に取り組んでおります。

理学療法士は医療専門職であり、治療者の枠組みの中に位置づけられることが多いかと思えます。しかし、けがや病気を治すのは、医療専門職ではなく、患者自身が持っている治癒力だと思っています。うまくこの力を引き出すのが医療専門職の役目なのです。理学療法士であれば、例えば筋力を強くしようとする場合、その人に見合った効果的な方法を覚えてもらったり、間違ったやり方をしている場合は修正します。理学療法士は医師のようにメスを持つことはできません。看護師のように注射を打つことはできません。すべて、言葉と身振り手振りで患者に説明や指導を行います。専門職なので当然、知識と技術は必須です。加えて時として辛い理学療法を患者に納得してもらう信頼される人柄が理学療法士には求められるのです。

皆様はこの時期、やっと大学受験から解放され、これから始まるキャンパスライフに胸を躍らせていたことと思います。しかしそれが実現できないことは、一つの試練です。あせらず忍耐強く過ごしてください。この経験はきっと皆様を一回り成長させ、理学療法士として求められる信頼される人柄の醸成にもつながるでしょう。授業の開始に向けオンライン授業やeラーニング授業等、皆様が安心して授業に臨める体制作りに私たち教員は懸命に取り組んでおります。皆様にお会いできる日を楽しみにしております。

岩井信彦（理学療法士）

担当科目 理学療法評価学・実習

理学療法管理学

理学療法技能演習 等

モットー 直向きに前向きに！

